

Vancity

Micro Focus® Operations Manager i で
IT 運用管理の効率を向上

概要

Vancity は、資産総額 186 億ドル、加入者 501,000 人、バンクーバーに 58 の支店を展開するカナダ最大の信用組合です。Vancity は、IT 管理を効率化しつつ、「99.999%」のアップタイムを実現するために、情報を「1つの画面」で表示する Operations Manager i (OMi) を含めた Micro Focus の統合ソフトウェアスイートを使用しています。

課題

モダナイズしたプラットフォームには統合管理が不可欠

Vancity の変革を促進しているのは、成長です。支店および加入者の数が増加する一方、同社は Unix/Oracle ベースのシステムから Microsoft Windows SQL Server ベースのシステムに移行して IT 環境を拡張しています。従来のメインフレームシステムから Temenos T24 に移行して基幹のバンキングアプリケーションをモダナイズし、サーバー台数を倍増したことで、データ量が年 38% の割合で増加しています。Vancity が目指したのは、リスクを最小限に抑えながら、「常に使える」可用性を確保することでした。同組合は長年、Micro Focus のソフトウェアで効率を改善してきましたが、最近、IT 運用管理の簡素化、統合、自動化を目指して OMi を導入しました。

加入者が満足するサービスを提供するには、社内および社外のアプリケーション（データベース、顧客関係管理 (CRM) システム、

オンラインバンキング、ATM など) を安全かつ円滑に稼働する必要があります。Vancity は、エンタープライズセキュリティの確保に Micro Focus Security ArcSight を、パフォーマンス、速度、効率化に各種の Micro Focus の運用管理ツールを採用しています。また、モニタリングに InfoPath フォームを使用しているほか、System Center Operations Manager (SCOM) や NetScout などの各種サードパーティ製ソリューションも使用しています。このようなソリューションすべてを統合して、可視性と事前対応型の制御を実現することが同組合の課題でした。

Vancity のシステムアナリスト III 担当である Jay Rooney 氏は次のように述べています。「当信用組合が目指しているのは、さまざまなシステムをすべて統合することです。この統合をサポートし、1つの画面で自動で管理ができるツールは、私が知る限り OMi の OpsBridge しかありません。」

ソリューション

OMi のイベント相関・統合ダッシュボード

Vancity は、1999 年から、障害およびパフォーマンスのモニタリングに Micro Focus Operations Manager (OM) を使用してきました。その後、OM で稼働する OMi を導入しました。OMi はマネージャーのマネージャーとして機能し、Micro Focus ツールおよびサードパーティ製ツールから読み込んだデータを統合し、分析を適用することで、ビジネスサービス管理を統合します。



概要

■ 業界

ファイナンシャルサービス

■ 所在地

カナダ

■ 課題

基幹のバンキングシステムをモダナイズし、「99.999%」の可用性と IT 管理の効率化を実現する

■ 製品とサービス

Operations Manager i
Operations Bridge Suite
SiteScope
Network Node Manager i
ArcSight

■ 成果

- + IT 運用管理の簡素化、統合、自動化
- + 根本原因の発見が 70% 高速化
- + 相関によりイベント数を 93% 削減
- + ポリシーのデプロイ時間を 66% 短縮

「多様なシステムすべてを統合することがVancityの課題です。この統合をサポートし、1つの画面で自動で管理ができるツールは、私が知る限り Micro Focus OMi—OpsBridge—しかありません。」

JAY ROONEY氏

Systems Analyst
Vancity

お問い合わせ先：
www.microfocus.com

Rooney氏は次のように話します。「これによって SCOM、SiteScope、OM、NNMi などの多数のモニタリングツールを導入できるようになりました。オペレーターはダッシュボードを使い、エンドツーエンドで可視化できます。」イベントの相関により、1日あたりのイベント数が93%削減され、残りのイベントのみ対応すればよい状況になりました。これによってオペレーターは、際限なく続くトラブルシューティングから解放されました。Rooney氏は次のように説明します。「たとえば Web サイトがダウンしたとします。物理的なネットワークがダウンしているときに Web サーバーをトラブルシューティングしても、解決はできません。今は、すべてを1箇所を確認できるようになりました。これまでは、各ツールからばらばらのレポートが出力されており、Web サイトがダウンしたことは分かっても、ダウンした理由は不明でした。」Rooney氏によれば、チケットの数は半減し、根本原因の発見が70%高速化したとのこと。これによって、解決までの平均時間が短縮されました。IT スタッフの工数削減による効果は、年間およそ 50,000 ドルに及びました。

成果

一度書けば、どこでも実行できる - 大幅な改善

Vancity が Windows ベースのシステムに移行してサーバー台数を増やす際は、OMi 管理がテンプレートの役割を果たします。

Rooney氏は次のように述べています。「同じポリシーをホストごとに若干変えたバージョンを700個も作る必要はありません。ポリシーを1つ作成し、デプロイするときにパラメータの値を変更するだけで済みます。以前は、ひたすらコピーし、ひたすらデプロイするという、非効率なやり方をしていました。一度書けばすべてにデプロイできるので、大幅に効率化されました」

デフォルトのモニタリングポリシーとシステムポリシーをプッシュする機能も、全体的な変更管理の簡素化の一部です。Vancityは、Micro Focus のソフトウェアを使い、オンラインになった資産を検知し、変更依頼をモニタリングシステムと共有し、旧システムの相互接続を発見し、下流工程での予期せぬ障害の発生を防止しています。セキュリティと高可用性により、顧客満足度が向上し、リスクが低減されます。また、現在実施中のインフラストラクチャ移行など、ビジネスに価値をもたらす作業に IT スタッフを専念させることができます。Rooney氏は次のように述べています。「今回のさまざまな対策により、レガシー環境をモダナイズしながら、管理を簡素化することができました。」

詳細情報はこちら：

<https://www.microfocus.com/ja-jp/products/operations-bridge-suite/overview>

マイクロフォーカスエンタープライズ株式会社
jp-info-enterprise@microfocus.com
www.microfocus-enterprise.co.jp